JPF Flash Report｜熊本地震

JPF/NGO対応「九州地方広域災害被災者支援」　2016年5月1日

JAPAN PLATFORM

被害概況（5/1 :11:30）

【死者：66人】
（震災後、負傷の悪化、身体的負担による疾病による死者17人を含む）

【避難所：409箇所（27市町村）】

【避難者数：23,246人】

【住家被害状況：40,039棟】
（全壊、半壊、一部破損含む）

【断水戸数：約11,500世帯】
断水が続いている地域があります。

【学校：
県立高校54校中、41校が被災、
特別支援学校17校中、14校が被災】
主な被害は給水管や、壁などの破損です

【公立小中学校は27市町村、317校が被災しています。】
主な被害は給水管や、壁などの破損です

熊本県内公立学校は、5/9日時点で25校が休校予定です。

参照元：
（2016/4/30 16:20時点）
政府現地対策本部会議、熊本県災害対策本部会議資料
（2016/5/1 11:30時点）
熊本地震に係る被害状況等について

http://www.pref.kumamoto.jp/kinkyu/pub/default.aspx?c_id=9
http://www.pref.kumamoto.jp/kinkyu/pub/default.aspx?c_id=9

4月14日9時26分に発生したM6.5の余震と、4月16日1時25分に発生したM7.3の本震は、熊本県を中心に大分などでも被害を発生させています。
余震の数は減っていますが、未だ住民は不安な夜を過ごしています。

4月30日の状況

これまでに66人が死亡し、行方不明者は1名です。震災後、負傷の悪化や身体的負担による疾病による死者が17人発生しています。
重軽傷は1,559人となっており、現在も23,246人が避難生活を続けています。

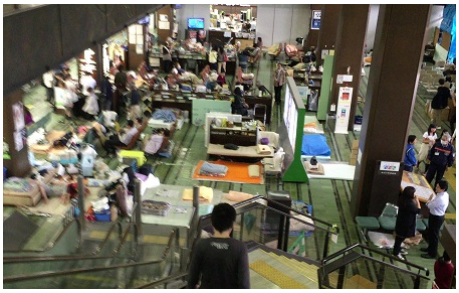
被害の大きい地域は、熊本県の中部／阿蘇地方です。特に被害の大きかった上益城郡益城町では、現在も約15%の方が避難生活を続けています。余震が続いており、夜になると不安で避難者が増える傾向にあり車中泊の避難者が依然としております。

一方で家屋が全壊し、自宅に戻れない方も多くいます。応急仮設住宅が最も早く建設される地域でも6月完成となっており、避難生活の長期化が見込まれます。

JPF「九州地方広域災害被災者支援」出動NGO　（4月30日現在）：

これまでの初動対応の結果をもとに、企業・団体・個人の皆さまからお寄せいただいた寄付より、続々と加盟NGOの本格的な支援活動に助成を決定し、支援事業を実施中です（次ページ活動地図参照）。

- ピースウィンズ・ジャパン（PWJ）
- AAR Japan [難民を助ける会]（AAR）
- アジア協会アジア友の会（JAFS）
- ジェン（JEN）
- 難民支援協会(JAR)
- わかちあいプロジェクト(WP)
- 災害人道医療支援会（HuMA）



避難所と化し、市民が寝泊りしている熊本市役所
©JPF

JPF事務局対応

JPF事務局は、本震の16日に「九州地方広域災害被災者支援」として出動を決定。現在、現地にスタッフを派遣し、加盟NGOや支援団体と情報共有、連携しながら、広域化した被災の状況把握や、支援体制の把握、JPF加盟NGO間の連携調整の必要性の見極め、企業との物資マッチングなどの調査をしています。

発災から2週間が経過したものの、未だ支援の行き届かない避難所がある中、GW明けの学校の再開に向けて避難所の閉鎖／再編の動きが出てきました。避難所の集約や仮設住宅に関する方針が明確でないまま、避難所の閉鎖の情報だけが流れており、被災者と避難所の運営者は困惑し、疲労がたまっている状態です。熊本県域で支援の調整が十分に行われているとはいえず、支援の集中もしくは不足している地域が出てきています。

社会的弱者のニーズ把握も包括的に行われておらず、支援の網から抜け落ちている被災者がいる可能性があります。支援の足りない地域、テーマ、今後発生しうる課題分野など、情報把握に努め、加盟NGOが、民間ならではのきめこまかい草の根の緊急人道支援を行うために情報提供していく方針です。

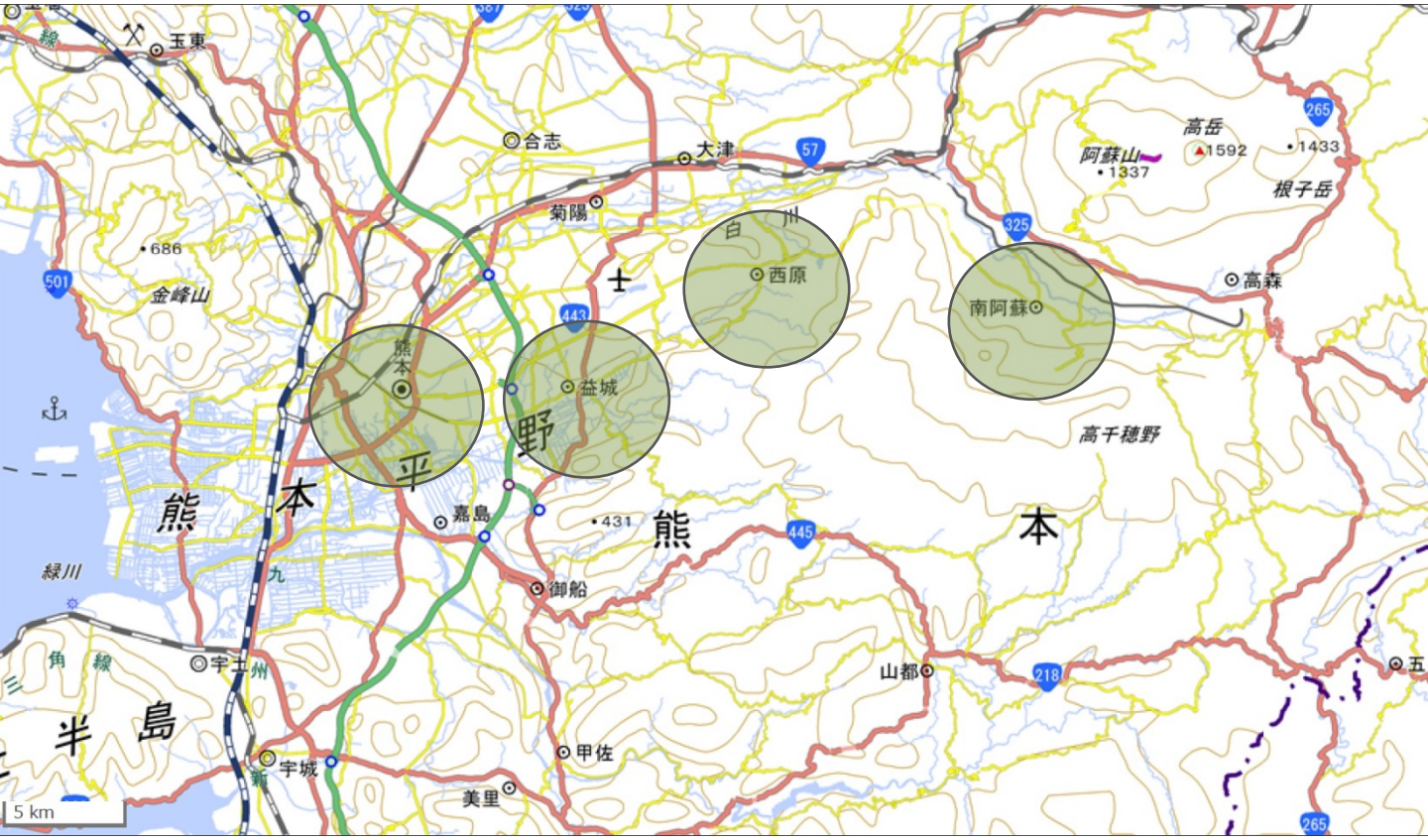
「九州地方広域災害被災者支援」活動最新状況はウエブサイトより: http://www.japanplatform.org/E/programs/kyushu.html
日々の活動の様子はFacebookより:　https://www.facebook.com/japanplatform

お問合せ先　：広報　高杉、小林　info@japanplatform.org　TEL: 03-6261-4750　FAX: 03-6261-4753

九州地方広域災害被災者支援
JPF加盟NGO活動状況

JAPAN PLATFORM

2016年4月30日現在



地図出典：国土地理院ウェブサイト

JH
熊本市：
初動調査 医療支援

SVA
熊本市 益城町：
食糧支援

ADRA
熊本市：
初動調査,医療支援

PBV
初動調査
益城町:食糧支援

PLAN
初動調査

AAR
益城町：
初動調査 物資配布
熊本市,西原村：
物資配布

JEN
熊本市:入浴サービス,物資支援
熊本市 南阿蘇村：
食糧支援

JAR
熊本県：
初動調査

CF
益城町 南阿蘇村：
捜索救助
益城町：
避難所支援

SCJ
益城町：
子ども支援

WVJ
益城町：食糧・物資配布,子ども支援

PWJ
益城町：避難所支援
益城町,南阿蘇村：
捜索救助

JRA
益城町 南阿蘇村：
捜索救助

HFHJ
益城町 西原村:
初動調査

OBJ
益城町：
物資,食糧配布

HuMA
益城町,南阿蘇村：
初動調査
益城町,南阿蘇村：
医療支援
益城町：医療支援

WP
益城町：食糧支援
益城町：初動調査

JAFS
熊本市,南阿蘇村：
食糧配布

GNJP
南阿蘇村：
避難所支援

JPF
熊本県、大分県：
初動調査、連携調整

加盟団体自己資金、他資金による事業

JPF助成事業
申請中
活動準備～実施中
支援終了

※上記の団体名は略称です
AAR:難民を助ける会、ADRA:ADRA Japan、CF:CIVIC FORCE、GNJP:グッドネーバーズ・ジャパン、HuMA:災害人道医療支援会、HFHJ:ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン、JAFS:アジア協会アジア友の会、JAR:難民支援協会、JEN:ジェン、JH:ジャパンハート、JRA:日本レスキュー協会、PBV:ピースボート災害ボランティアセンター、PLAN:プラン・ジャパン、PWJ:ピースウインズ・ジャパン、OBJ:オペレーション・ブレッシング・ジャパン、SCJ：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、SVA:シャンティ国際ボランティア会、WP:わかちあいプロジェクト、WVJ:ワールド・ビジョン・ジャパン、JPF:ジャパン・プラットフォーム